

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人み一つ ポコ大崎西第1教室・ポコ大崎西第2教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 24日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 24日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>&lt;専門的支援ができること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者や認定心理士による面談、保護者への助言、メンタルケアを行う。</li> <li>・理学療法士による身体の使い方、体力向上に向けての支援など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に面談などを行い、利用者の困り感や気持ちを聞き、助言をしている。</li> <li>・職員について、利用者との関わりについて聞いてもらい、助言し活かしている。</li> <li>・個別の療育支援(手先の使い方、姿勢、リハビリなど)、集団の療育支援(サーキット、スポーツなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援の充実度をはかり、工夫をすることが必要。</li> <li>・専門的支援における支援計画を作成し、利用者や保護者とニーズの把握をしながら支援を行う。</li> </ul>
2	<p>&lt;食育活動の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士によるスタッフの研修</li> <li>・食育実践プランナー資格者による療育支援</li> <li>・週3回の事業所でのお弁当の配布(実費)</li> <li>・畑栽培、調理体験、外食活動 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士の研修を受け、療育支援に活かしている。</li> <li>・事業所でお弁当を提供することでの家庭支援。管理栄養士監修のお弁当なので、栄養価なども分かる。</li> <li>・畑での栽培を通じて、苦手な野菜なども食べられるようになる。また、調理体験で楽しく料理をつくり、みんなで食べることの楽しさを味わう など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が提供するお弁当の回数を増やせないか検討中。</li> <li>・食育の年間計画を立てる。 など</li> </ul>
3	<p>&lt;地域をリードする事業所として&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加美町、大崎西地区こども運携会 Re; f(リーフ)を開催している。</li> <li>・各種 研修会に参加している。 など</li> <li>・地域の自立支援協議会の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所だけでなく、近隣地域の事業所や利用者家族など、幅広くだれでも参加できるあつまりの場を提供している。また、受けた研修を他職員に報告している。</li> <li>・職員それぞれが学びたい研修(ZOOM、参集型など)に参加し、研鑽を積んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも地域をリードする事業所として、開かれた事業所、地域に根ざした事業所をにしていくなめの方策を検討している。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーについて</li> <li>・戸外であそぶ場合の工夫について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年10月に移転する。室内については以前の建物よりフラットであるが、段差が見られるので、職員の見守りは必須である。</li> <li>・以前は園庭があり、のびのび戸外であそべたが、現在は園庭がなく、室内活動が多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置の工夫を行い、段差や気を付けるべき場所には目が行き届くように支援を行う。</li> <li>・事業所の近隣の公園であそんだり、外出活動などを工夫しながら、のびのび身体を動かしてあそべるようにしたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯対策について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所としての防犯対策について、以前から防犯カメラを設置したいと考えていた。事業所移転も完了したので、検討をしていたところだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年4月から各事業所において室内に防犯カメラを設置し運用する。今後保護者に周知をしていく。</li> </ul>
3			

ポコ大崎西第1教室 児童発達支援（職員）		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88%	13%	・個別の部屋はないが建物の構造上、スペースを確保するのは難しい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	
関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	

ポコ大崎西第1教室 児童発達支援（職員）		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	(28~30は、センターのみ回答)			
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—	—
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—	—
	30 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—	—
	(31は、事業所のみ回答)			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	57%	43%	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	88%	13%	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	
保 護 者 へ の 説 明 等	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	13%	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	100%	0%	
	非 常 時 等 の 対 応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%
46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		100%	0%	
47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		100%	0%	
48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		100%	0%	
49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		100%	0%	
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		100%	0%	
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		100%	0%	
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		100%	0%	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

ポコ大崎西第1教室 放課後等デイサービス（職員）		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	・利用者の数が多い日はスペースが十分でない ・事務所のスペースを少しづつ工夫して子供の 肥満場所等になっている ・コーナーにして活動している
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	・仕切り等を使用して工夫している。 ・バリアフリー化等は一人ひとり声をかけ合い 安全に過ごす工夫をしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	50%	50%	・クールダウン、専門的支援、個別対応するた めの場所がなく支援を工夫するのが苦しい ・個別の部屋は建物の構造上確保するのが難し い
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・次の日の朝に振り返りを行っている ・翌日の朝礼で振り返りと反省を行っている
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		

ポコ大崎西第1教室 放課後等デイサービス（職員）		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	
関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	75%	25%	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	38%	63%	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・こども連携会リーフを毎年6回主催している ・年1回フェスト、保護者会の開催を継続している
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		

ボコ大崎西第1教室 放課後等デイサービス（保護者）		はい	どちらとも いいくない	いいえ	わからない	ご意見	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	61%	33%	6%	0%	公園等に行っていると思いますが以前の建物の方が良かったなあと思います。面談時にもお話ししたのですが、室内で遊ぶスペース狭いなど感じます。休も大きくなる中でケガにつながるのではと少し心配です。天井の突起物が落下しないか心配です。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50%	33%	6%	11%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	89%	6%	0%	6%	
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	昨年研修で研修が終わり戻りに来た時に何となく気がいかなかったと感じました。専門的支援も変更があり少し不安になります。昨年は料理体験の日にエプロンや三角巾を準備していたものの結局上級生のみで、楽しみにしていた分本人のがっかりしていました。週2日の利用のためかSSTが多くあまりクッキングや農作業など取組のある内容が足りないことも多かったように思いました。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89%	0%	0%	11%	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	83%	0%	6%	11%	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	94%	6%	0%	0%	都合が合うときに参加させて頂き、とても学びになっています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	72%	17%	0%	11%	
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%	6%	0%	0%	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	引き出しの際、子供を送迎車から降ろして、今日の話を聞く時があるのですが、本人がうろついて危ない。手はつなくけど、話が入ってこない。（いつもではない）話をする→本人送迎車から降りるの流れが多いので、それを統一してほしい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	83%	6%	0%	11%	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		

ポコ大崎西第1教室 放課後等デイサービス（保護者）		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	
非常時の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	89%	6%	0%	6%	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94%	0%	0%	6%	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	不安という言葉をよく口にしますが、本人は楽しいと思っ て通っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	89%	0%	0%	11%	
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	0%	0%	6%	個別支援(1対1)や専門的支援についての様子をもつ と教えてほしいです。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

ポコ大崎西第2教室 放課後等デイサービス（職員）		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室に勝手に入ったりガラス窓に突進するケースがあったので支援をカUPに努めたい。</li> <li>・収納がもっと多い方がいい</li> </ul>
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正になっている。</li> <li>・人数としては適切なのかもしれないが、個別につかなくてはならない利用者が多く活動が十分ではない時がある</li> <li>・法令上の適正配置数より多い配置にはなっているが、強行等の利用者様が多いので配置数を更にもっと多くしてほしい</li> </ul>
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25%	75%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動室と廊下の段差につまづく児童がいる</li> <li>・トイレが込み合う場合は並んで待つ。</li> <li>・シンプルで落ち着ける環境だが、活動質の仕切りはつまづく危険性がある。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイルカーペットの汚染時は(1枚ずつ洗っている)</li> <li>・クールダウンできる場所がない</li> <li>・毎日の清掃を心掛けている</li> </ul>
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援室またはパーテーションで区切ったスペースでクールダウン等を行っている</li> <li>・体調不良時には目の届く事務室付近のスペースに寝かせている。</li> </ul>
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の業務が忙しく、PDCA等やっている暇がない</li> </ul>
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け評価は行っているのですが、今後業務改善につなげられる方法を詰めて行く</li> </ul>
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談や定期的な会議の設定がある</li> </ul>
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	

ポコ大崎西第2教室 放課後等デイサービス（職員）		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STの研修が良かった</li> <li>・リーフや研修等はためになります</li> <li>・月1回リーフ等で研修がなされている</li> <li>・いろいろな研修に参加できるのでとてもいいと思う</li> </ul>
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所に掲示している</li> </ul>
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者と主任が中心で実施している。</li> <li>・日々子供の様子を共通理解する時間を設けておりそれも計画を立てる際に材料となっていると思う</li> <li>・モニタリングシートを作成する時も、ほかのスタッフからの意見を聞いて作成している</li> </ul>
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・共有・実践・反省などのPDCAサイクルができています</li> </ul>
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人だけでなくチームで意見を出し合い柔軟なものとなっている</li> </ul>
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調整を行い偏りがないようにしている</li> <li>・アイデアを出し合っている</li> <li>・個々に考え相談はしている</li> <li>・持ち回りで担当者が立案している</li> </ul>
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフがそれぞれ創意工夫をして支援している</li> </ul>
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	63%	38%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ活動に参加するよう声掛けはしているがどうしても宿題などをしたがる利用者は活動室内でやるようにしている</li> <li>・発達段階が多岐に渡っているので個別活動を充実させるとさらに良いと思う</li> <li>・専門的支援に関しては自分の実力が不十分だと思うので、今後もっと勉強して行きたい</li> <li>・個別活動を確実に実施するのが難しい</li> </ul>
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日支援などで忙しい日は前日までに計画書を出し確認している</li> <li>・事前確認をしている、さらに子供の状況に応じてスタッフが柔軟に支援している</li> </ul>
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後ではなく次の日に振り返りを行っている</li> </ul>
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しのことでも記録とし共有するようにしている</li> <li>・会議で利用者の様子で気が付いたことを話すため、記録が具体化されるとともに検討できる</li> <li>・カイボケの内容を打ち合わせで共有し支援に生かす仕組みができています</li> </ul>
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が主として行っている</li> </ul>

適切な支援の提供

ポコ大崎西第2教室 放課後等デイサービス（職員）		（はい）	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	38%	63%	・一日支援の際は可能だが、利用者の下校時間等の都合により平日の場合は難しい ・日々取り入れているとは思、自分は勉強不足。 ・複数組み合わせることは難しい、いまは出来ていない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	63%	38%	・意思表示が難しい子に対しての配慮が足りなかった（自分の支援） ・活動するかしないかは自己決定できるが、育てるための支援が難しい
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	・連携はしているが、自分は支援に活かしてはいない
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・送迎の際に業務連絡だけではなく利用者の様子を共有することができている ・特にトラブル発生時は管理者が細やかに関係機関との連絡を取っている
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88%	13%	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13%	88%	・地域のイベントの参加、ポコでも企画している ・最近子ども食堂さん等のイベントにも参加でき良いと思う
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・管理者が町自立協に参加している
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・子供を引き渡す際、今日良かったこと心配なことなどを伝えるようにしている
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・家族の参加ができるイベント等増やしていてもいいと思う
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	

ポコ大崎西第2教室 放課後等デイサービス (職員)		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
保護者への説明等	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	・ポコで「子ども連携会リーフ」を主催している ・サマフェス等で保護者会を行っている
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・おたより、ホームページ等で活動を紹介している
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・活動に必要な物や連絡等を口頭だけでなくお便りを配布して伝えている
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	・「子ども連携会リーフ」の実施 ・リーフのみそづくり等の行事が今後増えていけばよいと思う
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	・回数が少ないと感じる
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・各種研修などに参加し知識を得ている ・てんかん発作の研修なども行われ、理解を深めることができた
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・スタッフ家族間で情報共有をしすぐの方策を検討している
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	88%	13%	・研修に行った人が伝講する機会があればよいと思う ・全体会議や研修、外部からの報告書等で定期的に確認することが出来ている
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		

ポコ大崎西第2教室 放課後等デイサービス（保護者）		はい	どちらとも いいいい	いいいい	わからない	ご意見	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78%	17%	0%	6%	まだ中全体が見えていなかったのではわかりません。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	94%	0%	0%	6%	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	67%	28%	0%	6%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	44%	39%	0%	17%	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	6%	0%	0%	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	83%	6%	0%	11%	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	88%	6%	6%	0%	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94%	6%	0%	0%	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	89%	6%	0%	6%	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	22%	50%	6%	22%	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	89%	0%	6%	6%	いつも柔軟に対応してもらっており感謝しています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	83%	11%	0%	6%	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	

ポコ大崎西第2教室 放課後等デイサービス（保護者）		はい	どちらとも いい/ない	いいえ	わからない	ご意見	
非常時の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	89%	11%	0%	0%	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	94%	0%	6%	0%	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	89%	6%	6%	0%	子供自身はどう思っているかわからないですが、楽しそうに行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	89%	6%	6%	0%	毎回楽しく参加しているようです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%	0%	0%	

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。